

日本中央アジア学会研究ワークショップ プログラム

■概要

日程：2011年6月4日（土）～6月5日（日）

会場：東京大学本郷キャンパス

■プログラム

6月4日（土）

<午後の部>

河原弥生（人間文化研究機構地域研究推進センター研究員）

「ムハンマド・ハキーム・ハーンとその著作『選史』について」

登利谷正人（上智大学大学院博士後期課程）

「『アフガニスタン近代史』の成立過程」

中畠哲平（北海道大学大学院博士後期課程、日本学術振興会特別研究員（DC1））

「帝政ロシア治下バクーにおける活字メディア

——第一次世界大戦期『明瞭な言葉』 *Açıq Söz* 紙分析に向けて——」

3月29日(月)

<午前の部>

立花優(北海道大学大学院博士後期課程、日本学術振興会特別研究員(DC2))

「2010年アゼルバイジャン国民議会選挙分析

稲垣文昭(慶應義塾大学SFC研究所上席所員(訪問))

「中央アジアの電力インフラ

——中央アジア電力システム(CAPS)をめぐる国際関係——」

<午後の部>

木谷舞里(慶應義塾大学大学院修士課程)

「キョルオール叙事詩における人物類型の試み

——研究動向の整理とともに——」

櫻間瑛(北海道大学大学院博士後期課程)

「間違った正教徒か?土着信仰の正しい継承者か?

——クリャシェンにおける祈願儀礼と自己認識——」

須田 将(北海道大学大学院博士後期課程)

「戦前ソスターリン期ウズベキスタンの民族政策再考

——ウズベク共和国ソヴィエト中央執行委員会フォンドの史料から——」